

くじら企画 第二回公演

# 三人虜

作・演出 大竹野正典

登場人物

スナメリ

ナガス

ゴンドウ

刑務所の話、だそつである。

ところが生憎、私は刑務所の事など何も知らないのである。

幾つかの映画や本で、見たり読んだりしたくらいのもので、記憶力の悪い私には、その内容は愚か牢屋の中に何があるのかも判然としない。

しかし、刑務所の話であるからには、それなりに正しい事は書かねばならぬまい。だから書くのだけれども、そういう訳だからこれは架空の刑務所の話である。

まず、檻がある。

檻の中は、六畳程度の小部屋になつており、打ちっぱなしのコンクリートの壁が寒々しいだらう。

檻の背後の壁、高さ二M程度の所に、小さな小窓があり、そこも檻になつてゐる。暑なのか夜なのか判然としないが、そこから薄らと外の光が射し込んでいる。

三組程度の煎餅布団が、片隅に積んである。

そしてその反対の隅に洋式のトイレがボツンとある。

それだけ。

ゴンドウが、一人で檻の中に立っている。彼は無錢飲食の罰としてここに置かれた。多分長くても一ヶ月程度での罰は終わるだろう。しかし、檻の中での一ヶ月は、きっと長い。

「コンドウ

　看守さん ねえ 看守さん —— そこに居るのは判つてゐるんです ちょっとと「いつに来ててくれませんか 困つてるんです私 —— ねえ看守さん 居るんでしょ? そこに? 少しくらい顔だし てくれてもいいじゃありませんか 緊急事態なんです ねえ 看守さん 緊急事態なんですってば! —— 居ないんですかそこ? 居ないんなら居ないつて云つてくれなきや駄目じやないですか 私困つてるんですよ トイレが詰つてるんです 流れないんですよ 今さつき流したら逆流したんですね 危うく便器から溢れ出す所だったんですね ねえ聞こえてますか看守さん 聞いてたらお願ひです 助けてください 私 今朝から下り腹でしてね もうすぐ次の波がやつてくるんです 今私こらえてます ええこらえてますとも 今はね —— しかし もう三度来たんですね 波がです 堪えましたよ私 しかしぬは土用波の予感がするんです お願ひです看守さん 私の防波堤は今にも決壊寸前なんです 看守さん 答えてください看守さん 私今しも 看守さん「ああ つ 看守さん(絶叫) —— クックツ 堪えました 四度目も堪えました でも 次はきっと 駄目です 防波堤にビビが入りました 少しパンツが暖かいです ねえ看守さん そこで笑いを堪えてますね 馬鹿な無錢飲食者の醜態をそこで高見の見物なるおつもりですか? 鬼つ! — いや 今のは撤回します 済みませんでした つい頭に血が昇つてしましました 怒らないでください もし良ければあの —— 名前は良く知らないんですけどあの —— カボカボ —— ほらトイレが詰つたときにポツ・シュン・ポツ・シュンてするやつがあるでしょう? あれ貸して頂ければ有り難いんですが —— あいつで二三度突つづいてやればきっと直ると思つんですね 看守さん? 聞いてます? 刑務所にだつてあるでしようカボカボの一つや二つ? — それからチリ紙の束があればそれも 貰った分はもう使つちやつたんですよ あれつて配給の枚数が決まつてゐるんですか?

私の分もつ無くなっちゃったんです ですから出来ればチリ紙も一束 —— 看守さん? 看守さん  
聞いてます? まさか居眠りしてるんじゃ無いでしようね? あ来る来る 第五の土用波 私の防波  
堤はもう限界です 来る —— 来た来た来た来た 看守さん 津波です ビッグウェンズディで  
す 看守さん カポカポ —— カポカポください そうでなければ私はもう —— 看守さ  
—— ああ

“ゴンドウ、津波に飲まれてやく。

### 暗転

すぐに明転。  
同じ場所に、ゴンドウとナガスが立つていて。

で?

え?

それからどうなつたんです?

聞きたいんですね その先?

いや聞きたいって聞かれたら 答えに詰つてしまいますが

私も云たくありません

云わざもがなの結末ですね 悲惨だなあ

悲惨というより、惨劇でしたね



今の話の何処が教訓なんですか！

「……では、いざいざいつとお嬢様、お嬢様はあてにならないって云つ

ナガス  
ゴンドウ  
ナガス  
今のは何処が教訓なんですか！  
——  
（大声で）看守さんへ「ハズレたが看守さんの悪口は言つてはよ

よしなさいナガスさん  
私模範囚なんですから そんな事云つて心証を悪くした、ひどいしててくれる  
んです

ナガス  
私から水を奪つた罰です

二二

奪つてませんよ もう二週間も前の話です あの後便器たつてちゃんと直してもらつたんだし きれいに掃除もしてるんです 流れてくるのも普通の水道水です 飲む前にきれいにしどけば何の問題

ナ  
ガ  
タ

イメージの問題です。わざわざ私の頭の中で、便器から逆流する汚水とその横で身悶えのたうちまわっているロンドンさんの映像が可憜も可笑もエンドレスで上映されているんです。ウエーハー

ゴンドウ

イメージチェンジするんです ナガスさん  
こんな強烈なイメージが今更チェンジ出来るもんですか

ゴンドウ

田をつむるんですよ そして大きく深呼  
無駄ですよ そんな」としても

三

——こ、「うですか？」（つむぎ）

二〇

スリバ

ナガス

どうですか

(目を開けよ、つと)

ゴンドウ

ナガス

ゴンドウ

目を開けちゃ行けません  
ああ（目を閉じた）

どうですほら 閉じた瞼を透かして光線が見えるでしよう 緑の光線です 何処からか鳥の鳴き声も聞こえます そよ吹く風に高い梢がざわつきます 下草の黒臭い匂いと杉の木肌の香りが鼻孔をくすぐります そうですここは奥深い山の杉林の中です あなたはそこをさまよつている ちょっとした散歩のつもりだったのが山中で道に迷つてしまつたのです もう何日間も道なき道をうろついている 喉がカラカラです もちろん水筒なんか持つてきちゃいません ああ水が飲みたい今すぐ飲みたい そうでなければもう力尽きてこの奥深い山の中でのたれ死んでしまうのです 死にたくないこんな山の中で一人ぱっちで死んでやくなんてあまりにも寂しそぎる あなたは必死に水を求めるのです 水水水 水は何処だ？棒のよう足を引き摺りながら それでもあなたは水を求めて這い回るのです そうして今しも力尽きて昏倒せんばかりのあなたの鼻孔をつくかすかな匂い水の匂いです あなたはしつかと目を見開きます 何処だ！何処にあるんだ水 私の水！あなたは自分の嗅覚を頼りにそこに向かって一日散に這い進みます —— おお すると何ともうあなたの目と鼻の先にそいつはあつたのです 木目細かい大理石の肌 美しい女性を思わせるその曲線 お尻を乗せれば天にも昇るような座り「こ」ちを思わせるそれは そう便器の形をした噴水だったのです ——

ゴンドウがトイレの紐を引っ張ると、暗示に掛かつてついふくふくと便器に擦り寄つていたナガスの目の前でけたましく水洗トイレの水が流れる。  
その轟音に目を覚ましたナガス、びっくりして絶叫する。

暗転

すぐに明転。

同じ場所に、ゴンドウとナガスとスナメリが立っている。  
少し気まずい間。

スナメリ  
ゴンドウ  
スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ  
ナガス

質問してもいいですか？  
なんです？

どうして奥深い山の杉林の中に便器の形をした噴水があるんです？  
だからイメージトレーニングなんです ナガスさんが水を飲めるようになる為の

何がイメージトレーニングですか おかげで私毎晩 トイレの中に顔を突っ込んで溺れる夢を見る  
んですからね これは明らかに新入りに対するじじめです スナメリさんも氣をつけないとダメま  
せんよ

“ゴンドウ  
私は親切でやつたんです 現にそのイメージトレーニングによつて私自身トイレの水を使えるようつ  
になつたんですからね

スナメリ  
私の国では奥深い山の杉林の中に便器型の噴水があるなんて思いもよりません やはり日本とこう

ゴンドウ  
いやスナメリさん それは実際にある詐じや無くってですね そういう状況を思い描く事に依つて  
トイレの水で歯を磨く事を克服するんですね

スナメリ  
ゴンドウ  
スナメリ  
コクフク?  
そうです 克服するんですよ

スナメリ  
ゴンドウ  
スナメリ  
何故？

ナガス 何故つて —— トイレの水ですよ そんなもの普通の人は口に入れたりしないでしょ？

スナメリ 何故？

ナガス だつて汚いじゃありませんか トイレの水なんですよ

スナメリ 日本のトイレの水は汚くありませんよ

ゴンドウ そうなんですよスナメリさん トイレの水は汚くないんです 考えるに「これはね刑務所側の配慮なんじゃないかと私 つい最近思つようになつたんです 私たち囚人にトイレの水を使わせる事によつて 人間としての視野を広げさせよつといつ刑務所側の教育なんじゃないかってね ナガス 何を馬鹿な事云つてるんですゴンドウさん トイレの水飲んで視界が広がるんなら ボウフラやウジ虫なんか仙人になつてますよ いいですかゴンドウさん これは単なるゴーモンです それも人間としての尊厳を失わせる為の悪質なゴーモンなんです

スナメリ 一人とも云つてる事変ですよ 何処でどんな目的で使われようと 飲料水は飲料水です 飲む上で視野が広がつたり人間の尊厳を失つたりなどしません — 只 飲める水をトイレに流す国 日本はやはり侮れません

ナガス さつきから日本日本で変な人だなあスナメリさんは あなたも日本人のくせにどうしてそんなグロ

ーバルな視点で物事を語るんです？

スナメリ 私 日本人じやありません

スナメリ え？

スナメリ 私 外国人ですよ

スナメリ は？

スナメリ 生まればカザフスタンなんですが

メン共和国で幼稚園をすゞした後 グアテマラの小学校にあがりスチーダンで小学校を卒業しました

中学はチャドでクラブは軟式野球をやっていました 高校にあがつてからはアルバニアで陸上部に転向したんですが膝を痛めてしまいスポーツは断念しました 失意のモルジブではリハビリがてらに素潜りやりましたが カタールで私の青春は語るに落ちてしまいやけになつた私はバスアツでバツイチの女と結婚しました 今はコモロに子供と妻を残して日本に働きに出でてるんですけど

ゴンドウ

スナメリ

スナメリ

—— という事はつまり —— あなたは何人なんですか スナメリさん  
今の国籍はコモロですが 母方のエスキモーの誇りと父方のダッタン人の情熱は私の中に脈々と生きています

ナガス

ゴンドウ

スナメリ

それに日本語もなんだか関西訛りだし スナメリさん

ナガス

スナメリ

母の母 —— つまり私のおばあちゃんが大阪の天満なもんで 小さい頃から夏休みにはおばあちゃんの家に遊びに来てたんです だから日本語は大丈夫です 顔は隔世遺伝ですねきっとどちらと待ってください エスキモーのおばあちゃんがどうして天満に住んでるんです?

おばあちゃんはエスキモーじゃありません 日本の北極探検隊の女性隊員だった頃にエスキモーのおじいさんに見初められてアラスカで結婚したんです しかし不幸にも狩りに行つたおじいさんが白熊に殺されてしまったのでもう一人前だつた母を残して故郷の天満に帰つたのです

二人

スナメリ

ナガス

スナメリ

ゴンドウ

スナメリ

(写真を出して見せる) 「これコモロの妻と子供の写真です

—— これ奥さんですか?

はい ちょっと大きいですがバスアツでは大きい人ほど美人です

—— この奥さんが口でくわえてるのがお子さんですか?

ええ マイマイつて云うんです 去年小学校にあがりました

ナガス

スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

奥さんと子供を置いて日本に出稼ぎですか 大変ですね  
日本はコモロの十倍稼げますからね

日本に来てどんな仕事をやってるんです?  
建築現場です 毎日セメント袋扱いでいました

それがどうしてこんな所に入る羽目になつたです

ナガス  
スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

(恥ずかしそうに下を向いた) — 私子供を拉致したんです

ゴンドウ  
スナメリ

拉致ってあの — 誘拐ですか?

ナガス  
ゴンドウ

誘拐なんてとんでもありません

あまりしたくありませんね ヤクザやチンピラは別にして こんな所に入ってるヤツはたいてい誰だつて自分のした事を話

ヤコドウ  
ナガス

ヤコドウ  
ナガス

同じ房に入れられるんだから どうせ三人ともどんぐりの背比べ程度の犯罪でしようね

ナガス  
ゴンドウ

言つてしまえば馬鹿にされそつだから云わない程度の —

ゴンドウ  
ナガス

そうなんですかナガスさん — あなた一人から馬鹿にされて笑われるような事やつたんですね?

か?

ナガス  
ゴンドウ

何云つてるんです 犯罪なんて例えどんな大きな事をやつたって 捕まえられたら皆馬鹿にさ

れて笑われるんです

ナガス  
ゴンドウ

そりやそつかもせんけどね 本懲を遂げた人は 人から馬鹿にされようと笑われようと

そんな事はきつとどうでもいいんです 例え刑務所に繋がれてもね それで満足してるんですけど そんな犯罪者居るんですかねえ?

ナガス  
ゴンドウ

居ます 私ですよ ナガスさん

ナガス  
え  
ゴンドウさんがですか？

(下を向いて自分のした事に思い巡らせていたスナメリも顔を上げた)

「ゴジドウ  
そうです 私 本懐遂げました

いつたい何をやつたんです  
"ジン"ジンデウセヒニ

「ゴンドウ  
聞きたいですか？」

そりや  
いつまでも聞かれたがら  
聞きたいですよ

ゴンドウ  
そうですか  
じやあ話してもいいですか  
口ハという駅には参りません  
聞き代を何か頂かね

一  
二

ナガス  
聞きたつと何です?私  
お金なども持つちや、ませんよ

支給のタオルや挽飯のオカズで構いませんナゾね 河なわチリ紙一束でも

ナガス

兼ねて引講、其の上私

二三

が、少々不思議な結果が得られた。無理に、因に、などは今度の調査に出るブレイス君の主義、あれで手を行

ナガス

馬鹿でござる。」  
「えへへ、お前は和の不思議がんて、  
黒執事の素でかにに向かう

四三

ゴ  
ボ  
ウ

アナハニモトキ聞きかしんがく 俺が聞き仕事の仕事

スナフ

判いましたが、アグイア豆の甘煮ですね。楽しみながら一度の週末

ナガス 楽しみはいいですから早く話してくださいよ

楽しみはいいですか早く話してくださいよ

ゴンドウ  
はい それじゃあお話をいたします —— 私の生業はもともと市の委託を受けた清掃業務でしてね いわゆるバキュームカーで各家庭を一軒一軒回ってトイレの汲み取りをする仕事だったんです —

ナガス  
スナメリ  
ああ汚穢屋さんね

ナガス  
スナメリ  
ナガス  
汚穢屋さんっていうんですよ 側を通つたら臭くってね 子供の頃はよく人差し指に中指を」  
う掛けで —— (やつて見せる) 「べベンジヨカンジヨガギシメタ」 つてやつたもんですよ  
(不思議そつに真似してみる) 「べベンジヨカンジヨカガギシメタ」 —— どついつ意味ですよ  
臭いものから逃れる為のいわば子供たちの呪文ですよ

ゴンドウ (その手を払つ)  
ナガス 痛つ 何するんですか"ゴンドウさん

「コンドウ 汚穢屋で悪かったです。もう私話しません」

ナガス  
ゴンドウ  
話しませんってそんな——ウケイス豆の甘煮で手を打ったじやありませんか  
ウケイス豆の甘煮は私の心をむやみに傷つけた慰謝料として週末きつちりと頂きますよ

ナガス  
ゴンドウ  
理不尽ですよそれは  
いいえ 理にかなつた対処です  
職業差別も甚だしいです  
臆並みの知性しか持ち合わせてな

ナガス  
い人に 話す事なんかこれっぽつもありませんよ  
猿並みの知性とはなんですか

「この世に必要でない仕事は数々ありますが、汲み取りの仕事は紛れも無く世に必要な仕事だつたのです。その恩恵にはナガスさんだつてきつと浴して、いたでしよう。それをなんです

「汚穢屋」だの「ベベンジヨカンジョ」だと よくもそんな恥知らずな事が云えましたね  
子供の頃は誰だつてそつやつて離し立てたもんです 私はある懐かしさを込めて子供の頃にや  
つた事をリフレインしたまでです

「コンドウ」  
私が汲み取りの仕事だったって云つたとき「ああ汚穢屋さんね」って人を蔑むような口付きで  
云つたじゃないですか 私そういうの敏感ですからね ピンとくるんです  
ナメリ 判ります私 子供の頃から知らない国に転校ばかりしてましたから 私もよく人から色々見  
られました 「コンドウさんの気持ち私はよく分かります

ゴンドウ 外国人に私の気持ちが判つてたまりますか

スナメリ いいえゴンドウさん 判らないのは汲み取りを蔑む日本人の心です 世界の中で水洗式のトイ  
レを使う国は僅か一握りです 私の住んだ国々もほとんど汲み取り式のトイレの国ばかりでし  
た 農家の人は自分達で汲んで畠に撒きます そうでない人の家には農家の人が汲みに来ます  
そうやって農家の人は肥やしを貰う訳です だから貰った家には芋やトウモロコシをお土産分  
けするのです いわば物々交換 どちらも助かるのです 汲んでもらう側の人たちは汲みにく  
る農家の人に感謝します 決して蔑んだり離し立てたりなどしません

「コンドウ」  
(目が輝いた)スナメリさんはまさに日本の原風景です 日本もかつてそつだつたんです  
お百姓さんがそつやつて肥やしを貰いに来たんです いわば排泄物に価値のあった時代  
— そうですね 排泄物はまさに財産だったんですね — それを水に流してしまつなんて そん  
なもんが文化と呼べるのか 水洗トイレの馬鹿野郎 (とナガスに向かつて怒鳴る)

ナガス どうして私に怒鳴るんです  
「コンドウ」  
ナガスさん あなたが本来あるべきトイレの流通機構を変えてしまつたんです 臭いものにべ  
ベンジョカンジョするあなたが

ナガス ナガス 私 そんな大それた事してません

ゴンドウ ゴンドウ

ナガス ナガス ゴンドウさん 話が飛んでます

いいえ飛んでません 私の地域から汲み取りしきトイレが無くなってしまったのもあなたのせいです ナガスさん —— たくさんベベンジヨカンジヨが世を押しなべて汲み取りしきトイ

レを下水溝に流してしまったんです

それですねゴンドウさん あなたの犯した罪の源は 世界がすべからく清潔化してゆく中で取りこぼした本当の文化をゴンドウさんは察知して それに怒りを感じていたんですね

ナメリ ゴンドウ 私聞きたいです “ゴンドウさんが何をしてかしたのか  
もう話さないって云つたでしょ

ナメリ ゴンドウ 外国人として興味があるんです “ゴンドウさんのような日本人がちゃんと居る事を私は知つておきたいんです

ナメリ ゴンドウ スナメリさん あなたきっと誤解します

ナメリ ゴンドウ スナメリ いいえゴンドウさん 謙遜は止しましよう たがが人間一人の出来るレジスタンスはちつぽけな事でしかないと私も重々承知しています しかしそれが大事なのです 私の住んだ国の一いつにこんな格言があります タコは八本足だが百匹寄れば八百本足である —

ナメリ ゴンドウ そのまんまじやないです それどういう意味の格言なんですか

ナメリ ゴンドウ 私もよく意味は知りませんが なんとなく判ります —— タコ一匹だと八つしかない足が百匹寄れば八百本になるんです 凄い —— “ゴンドウさんのやつたレジスタンスもきっとその

ような事です

ゴンドウ そのような事じゃありませんよ 何を云つてるんです —

スナメリ  
ナガス  
スナメリ  
ナガス

じゃあどんなレジスタンスなんですか？

スナメリさん もう止しない 「コンドウさんが困っていますよ (面白がつてゐる)

だつてナガスさん 私どうしても聞きたいんです 「コンドウさんの本懐を遂げたレジスタンス  
何がレジスタンスです 「コンドウさんの顔見て」「いんなさい」 あれがレジスタンスって云う顔  
ですか？ 半骨精神だとか闘争心だとか そんなもんのかけつけられっぱちも無い田つきで  
すよ あれは — レジスタンスなんてとんでもない 店のレジスターから釣り銭誤魔化す

のが精一杯つて顔してますよ

ナ ナガスさん私は店のレジスターから釣り銭誤魔化してなんかいません  
そうですナガスさん 人を顔や目付きだけで判断してはいけないと 私天満のおばあちゃんか  
ら教わりました

ニオワんですよ 私と同じニオイがするんです 「コンドウさんからパンパンとね

え？ — (どコンドウとナガスを嗅ぎ比べてみる)

レジスターから釣り銭誤魔化さずとも 当たりはずも遠からじでしようコンドウさん だから  
人がウグイス豆の甘煮を取り上げておいてもう話さないなんてセコイ真似するんです  
それはナガスさんが話の腰を折ったからです 私はああいう態度は許しませんからね  
ナガス それじゃあ それは謝ります ウグイス豆の甘煮も慰謝料として進呈します そうして改めて  
の聞き代として (自分の持ち物入れから小さな紙袋を出す) 一つ一本つりますから 話の  
続き聞かせてもらいますか

ゴンドウ  
ナガス  
ゴンドウ  
ゴンドウ  
カ カリントウ(目が輝いた)  
(袋の中から一本取り出して見せる)

何ですか それは?

ナガス

しじじつ（と制して、すかさず袋に仕舞つ）—— 極上の黒カリントウです この前の運動の時間に他の房の連中と石投げをしてせしめたんです

どつぢず「ゴンドウさん」 刑務所では口にすゝる事の出来ない甘みです 「れ一本で話して貰えませんか 悪くない話だと思つんですが

いやまあ —

それでもし 「ゴンドウさんの本懐を遂げた話が本当だつたならば その上にもう一本 黒力リントウを上乗せしましよう

ゴンドウ カリントウ一本ですか？

ナガス ええ —

そこまで云われたら仕方が無い 話しますよ — 本当にカリントウ一本ですね

ナガス 極上の黒カリントウ一本です

スナメリ でもゴンドウさんの話が嘘か本当か どうやつて判断するんですナガスさん。

ナガス それは私が自分で判断しますよ

ゴンドウ 心配御無用です 私本当のことしか話しませんから — しかし ナガスさん今度は話の腰を折らないように気をつけてくださいよ

ナガス 判つてますよ

ゴンドウ それじゃあ話しましよう — ええどど「まで話しましたつけね？

スナメリ ゴンドウさんがバキュームカーで汲み取りの仕事をしてたつていう所です

ゴンドウ そうなんです 先ほども云いましたが私は私なりにその仕事を誇りをもつて従事していたのですけれど やはり時代の波には逆らえません 私らの受け持つ区域も都市化の整備が進みつ

いに汲み取り式のトイレは全て 水洗式トイレに変わってしまったのです それで私の勤めていた会社は やはり市の委託を受ける生ゴミ収集業に転向してしまったのです 私達社員は生ゴミの収集員としてそのまま居残るか

なげなしの退職金を貰つて退職するか

「一つ一つを選ばなければなりませんでした――

スナメリ  
コンドウさんはどうちを選んだんです?

コンドウさん―― 気が進まなかつたんです 私には―― なんというか もうといつ自分が合つた仕事があるはずだと思つたんです―― バキュームカーで汲み取りしてた頃にあつた使命感がですね 生ゴミの回収ではちょっとと違つと思つたんです

スナメリ  
コンドウ  
生ゴミの回収も市民のためになる立派な仕事ですよ

それはそうなんですが 自分の中でうまく呑み込めないんですよ 何というか 使命感が無いんです 私の中で生ゴミはちょっと違つたんです それでなげなしの退職金で食いつなぎながら何かもっと私に合つた仕事を探そつと思つたんです ですからすぐにアルバイトを探して働きました 色んな仕事を片つ端からやって そのうちに自分の本当の仕事が見付かるだらうとタカをくくつっていたんです――

それが見つける仕事見つける仕事が全部違つんです 私のやるべき仕事じゃない 私は「こんな事をするために生まれてきたんぢやないって思えてしまつんです

それは無い物ねだりですよコンドウさん 自分のやりたい事をやって御飯吃てる人なんて そつそつ多くはありません たいていの人は食べる為に仕事をするんです 時にはしたくない事だって我慢してやらなきや駄目なんですよ

コンドウ  
ナガス  
ナガス  
何ですか人生の事つて

ゴンドウ  
ナガス

だから人の生きる道ですよ 何をやつて生きてゆくのかが大事なんです  
だから生きてゆく為には まず生活でしょう 食べなきや死んじやうんですからね  
スナメリさんを見て「らんなさい 遠い外国からはるばるやって来て 日本でセメント袋扱い  
でたつて云つてたじやありませんか そんな事 スナメリさんが好きでやつてたと思つんですね  
か?「冗談じやありませんよ — 家族を食べさせる為でしょう ちよつとでも樂に暮らす為  
でしよう 違いますか?

スナメリ

ナガスさん 私セメント袋扱いの大好きですよ ああ云う仕事は性に合つてます 太陽の下で  
体を動かすのはとても気持ちがいい

ナガス  
スナメリ

ナガスさんは黙つてなさ。

ゴンドウ  
ナガス

— スナメリさんには家族があるじゃないですか  
え?

ゴンドウ  
ナガス

たとえ 遠い外国に離れ離れに暮らしてたつて家族がちゃんと居るじゃないですか スナメリ  
さんはその家族の為に働けばいいんです それがもしかしたら人生の目的かもしれないじゃあ  
りませんか

ナガス  
ゴンドウ

ナガスさん あなたどうなんですか?  
どうなんですか 何がですか?

ゴンドウ  
ナガス

あなた家族いますか?

ナガス  
ゴンドウ

いえ いませんけど  
じゃあ 友達は?

ナガス 友達つて―― そのまあ―― 友達つて呼べるかどうか知れませんが そのあの 一人ぐらいいは――

でもそんな事なんで「ゴンドウさん」云わなきやならないんですか

「ゴンドウ―― ナガスさん 私にも家族は居りません ですけど友達は一人居ます バキュームカーで一緒に汲み取りの仕事やつたヤツです 彼はそのまま居残つて今もまだ生ゴミの収集員を続けてるんです もしかしたら私の唯一の親友と呼べる人間かも知れません そいつが私に云うんですよ 「おまえにはきっと何かある」 ってね 「バキュームカーでの仕事振りは俺が一番よく知つて いる その俺が云うんだから間違いはない 人生を懸ける仕事が見付かるまでガンバレ 僕が応援してやる」 ってね

ナガス そんな事 他人事だから云えるんですよ どうせ安酒飲んだ席で出たタワ言でしよう 何が「人生を懸ける仕事が見付かるまでガンバレ」ですか 見つかるかどうかも分からぬ仕事を探し出すまで その人がゴンドウさんの生活をサポートしてくれるんですか そんな殊勝な人が居るんなら 一日お目に掛かりたいもんですよ

ゴンドウ 私の友達の悪口を云つなつ！（立つた）

ナガス あ 立ちましたねゴンドウさん 「ゴンドウさんがその気なら私だつて立ちますよ（と立つ）  
スナメリ （割つて入つた） 一人とも駄目です ケンカをしては駄目です―― ナガスさんどうしてそんなに食つて掛かるんです 話の腰を折らない約束だつたじやありませんか  
ナガス いい歳してそんな甘つちよい事云つてゐるゴンドウさんに虫唾が走るんですよ 「こんな人の云う話の先なんかが知れます 話の腰なんか私何度でも折つてやりますよ

ゴンドウ 私の親友の悪口云つような人にもう誰が話してやるもんですか  
スナメリ ゴンドウさん 私とのウグイス豆の約束はどうなるんです 私ゴンドウさんの話の続きを聞きた

いです

ゴンドウ  
スナメリさんの分はもう預きません——ナガスさん あなた」の期に及んでカリントウが

惜しくなつたんでしょう だからそんな話の腰の折り方したんでしょう

ゴンドウ  
ええ惜しいですとも「ゴンドウさんにカリントウ分けてあげるへりしなり刑務所のネズミにや

つた方がはるかにマシですよ

ゴンドウ  
云いましたね 私がネズミ以下ならナガスさんなんかミミズ以下です！

ナガス  
ミミズ以下とはなんです！

スナメリ  
二人 あ 私その日本の「トワザ知つてます ネズミにミミズつて云うんですね

それは「寝耳に水」ですっ！

窓の向うに風が吹く。

スナメリ、何か気配を感じて人差し指を立てた。

シイツ

スナメリ  
ゴンドウ どうしました？

スナメリ  
今 音がしました

ナガス  
風ですよ 窓の外で風が吹いているんです

スナメリ  
ゴンドウ いえ 靴音の様でした

ナガス  
看守さん ですか？

スナメリ  
ナガス 騒ぎ声が聞こえたんでしょう きっと

見つかってやきつと怒られますよ

「コンドウ 知らん顔を決め込むんです 寝たふりしますよ

三人、布団をそれぞれ掴んで、寝たふりを決め込む。

靴音は聞こえず、窓の外をそよ吹く風の音だけが鳴っている。  
しばらく間。

ナガス  
（寝たふりのまま）—— 来ませんね看守さん

スナメリ 何処かに行つちやつたんでしょう？

ナガス スナメリさんのお聞き間違いだつたんじゃないですか？

スナメリ 私 地獄耳です 聞き間違えたりしません—— あれは確かに靴音でしたよ

ナガス そうですか——それじやあきっと静かになつたんで戻つたんでしょう

スナメリ ええ そうかもしません——

また間。

窓の外で風が吹いている。

コンドウのイビキが高くなる。

スナメリ 「コンドウさん——『コンドウさん

（イビキかいてる）

ゴンドウ ナガスさん『コンドウさん本当に寝ちゃつたみたいですよ

ナガス 年寄りってのはすぐに寝るんですよ ほつときなさい

スナメリ ナガスさんももつ寝ますか?

どうして?

ナガス いえ ナガスさんも寝るのかなと思つたもんですから

スナメリ ナガス 私が寝ようと寝まいとスナメリさんには関係ないでしょ

ナガス そうですか —

スナメリ ほつといてください

スナメリ、写真を取り出して眺める。

暗転

すぐ明転。

スナメリとゴンドウは眠つてゐるのか、寝息を立ててゐる。

ナガスは、布団を被つて、音を立てないように、黒カリントウをしゃぶつてゐる。

しばらく間。

スナメリが寝た格好のまま、声を掛けた。

スナメリ — ナガスさん

ナガス (慌てて、カリントウを隠す) ビックリした — スナメリさん

スナメリ 隠さなくていいですよ — キリンソウ — でしたつけ?

まだ起きてたんですか

ナガス  
何だ知つてたんですか —— カリントウです（再び舐める）

何た知つてたんですか——カリントウ  
カリントウ——不思議な名前ですね

そうですかね——眠れないんですか？

スナメリ 何だか色んな事を思い出しちゃつんです

最初は誰だつてそうです  
私なんか未だによく眠れませんよ

スナメリ 「モロは今頃朝です — マイマイはちゃんと学校に行ってるでしょうか?」

親はなくても子は育つってね——日本のコトワザにありますよ

スナメリ　——そっちに行つてもいいですか？

え?構いませんけど――スナメリさんまさかそっちの気あるんじやないでしょうね?

スナメリ  
そっちの毛?  
——  
私  
あっちど」「つちに毛はあります  
そっちには毛は無いと思います

多分  
——  
(何を云つてゐんだ?)

ナガス  
(あきれた) — そうですか 判りました どうぞ

(ナガスの横へ) 失礼します

卷之三

と云つて、ナガスの口元をじつと見つめる

ナガス  
スナメリ  
ナガス  
(氣付いて)なんですか 人の口元じつと見詰めて  
(何だか思い詰めてる)それがキリソウですか  
カリントウです! あづませんよ ——そつま句いて舐める

スナメリ  
いえ そういうつもりは毛頭ありません  
只? — 何です

スナメリ

ナガス

日本にもそういう風習があるんだなあと思つたんです  
風習? —— いつたい何の話です?

いえ いいんです —— ナガスさん

なんです

私心配なんです 所長さんに聞いた話では一ヶ月程で「」を出される予定なんですが —  
だったら大丈夫でしょう 所長がそんな事で嘘をつくと思えないしそう云つんだつたら一ヶ月  
で出られますよきっと  
その後の事です 「こんな事になつて親方はきっと怒つています もう私の事を雇つてくれない  
のではりませんか?

ああそーかもりせませんね

もしそうなつたら私 路頭に迷つてしまします 私が路頭に迷えば妻とマイマイも困ります

日本は働き口に困りませんよ プライドさえ捨てれば 何をやつたつて食べてゆけますよ

日本にはコモロ人はほとんど居ません 天満のおばあちゃんも死んで居ません 親方に見捨て

られたら私は一人ぼっちです これからどうすればいいのか途方に暮れます

何が云いたいんですスナメリさん?

ここで会つたのも他生の縁です ナガスさん 何か仕事を紹介してもらえないでしょうか?

馬鹿云つちやいけませんよ そんな事私に出来る訳がありませんよ

私が外国人だからですか? コモロ人ではやはり駄目ですか?

そうじやありませんよ —

私何でもやります こう見えても力はあるんですよ ナガスさんお願ひします

そんな事所長に頼めばいいでしょう きっと何かいい仕事を紹介してくれますよ

スナメリ

それは駄目です。ここを出ればもう間もなくビザも切れるんです。私 強制送還になります。  
所長はもちろんそれ知っています。仕事なんか紹介してくれません。

ナガス

ナガス

ナガス

ナガス

じゃあ違法就労覚悟で日本に来てるんですけどスナメリさん  
そうです。ここを出れば私は何処かに隠れなければならないのです  
大変ですねえ 外国人も

大変なんです。だからナガスさんお願いします。仕事紹介してください  
駄目ですよ。何度も云つても無理なものは無理です

— そうですか 判りました

スナメリ、自分の寝場所に戻る。

ナガス

ナガス

— 悪く思わないでくださいよ スナメリさん

いえ いいんです 無理を云つて済みませんでしたナガスさん

少し間。

カリントウを舐めていたナガス 少し気が引けたのか、思い付いてスナメリの所へ行く。  
持っていた袋の中からカリントウを一本出して、スナメリに進めた。

どうですスナメリさん カリントウです、ゴンドウさんには内緒ですよ  
わ 近づけないでください

ナガス

ナガス

ナガス  
スナメリ

何ですか? どうしたんです?

引つ込めてください それ

ナガス  
スナメリ

そうです — カリントウですか? —

ナガス  
スナメリ

どうして? 美味しいんですよこれ

ナガス  
スナメリ

いりません

氣を悪くしたんですか — (カリントウを袋に戻して) — スナメリさん  
私別に意地悪や偏見で スナメリさんに仕事を紹介しない訳じゃありませんよ  
私にはスナメリさんに紹介できる仕事なんてないんです だって私自身これと云った仕事につ  
いて無いんですからね

スナメリ  
ナガス  
スナメリ

— どういう事です?

ナガス  
スナメリ  
浮浪者

— 私ね ガーデンで浮浪者やつてたんですよ だから仕事なんかロクにしてないんです  
— ルンペんですか? —

ナガス  
スナメリ  
ナガス

ルンペん? — ああ 他人から見ればそう呼ばるんでしょう

スナメリ  
ナガス

済みません 私言葉よく知らないもんで —

ナガス  
スナメリ  
ナガス

ルンペん知つてればたいしたものですよ — そうです 私はルンペんです 一時はダンボ  
一ル回収の仕事なんかもやってたんですけどね — 一緒に暮らしてた他のルンペん仲間二  
人に誘われて 工事現場のお弁当ドロボウやつたんです

スナメリ  
ナガス

ええ — 現場の作業員が仕事をしている隙に 休憩室からお弁当や小銭を盗むんです  
お弁当ドロボウ?

それが尽く上手くやくものだから調子に乗つて、田をつけられていたんでしょ  
うね。あいつと捕まつてしまいまして、私だけがです。他の一人は途中で氣付いて逃げたんだでしょう。後で口を割られればガード下に行つたときにはもぬけの殻でした。

それは――大変でしたね。

私は一生あの一人の事は忘れません。自分でさえよければ私の事なんか置き去りにする一人です。ここを出たらきっと見つけ出して、あいつ等に復習してやるんです。(舐めてたカリンツーを思わず齧つてしまつ) あ、いけない、齧つちやつた――

でも、その人たちの事なんでしょう――さつき云つてた二人の友達つて云つるのは、ゴンドウさんにのせられて、つい口からでもかせ云つたんですよ。あんな連中の何が友達なんですか。スナメリさん、他人なんかに気を許すもんじゃありません。友達面しても所詮他人は他人です(また齧る)。あ、また齧つちやつた。クソウ。私の夜の楽しみがあつと云うまに終わつてしまつた――スナメリさんのせいですよ。もつ寝ます。

ナガス、寝場所に戻つて、すぐに寝息を立てる。

スナメリ、まんじりともしない。

暗転

明転。  
朝である。

起床の合図とともに三人一斉に飛び起きる。布団を畳んで重ねる。各自の所持品入れから歯ブラシとコップ(?)を出す。三人とも、本当はオシッコがしたいのだけれども、オシッコの後で歯を磨くのは気分的に嫌だから、我慢をして先に歯を磨くのである。ゴンドウからスナメリに便器を奇麗にするようとの指示が出る。スナメリ、新米なものであまり要領を得ない。ゴンドウとナガス、オシッコを我慢しているので、イライラしながらスナメリのタオルで便器を擦るのだと手取り足取り教える。スナメリ、ようやく便器を磨き終える。水を流す。さらに流してから、それぞれのコップに水を汲んで歯磨き。ナガス、オクビする。三人とも、早く小用を足したいものだから、歯を早く磨こうとする。二人を出し抜いて磨きながら小用を足すものがでる。三人、歯磨きと小用を終えて、歯ブラシとコップを片付ける。看守が来る気配。三人一列に横並び、点呼を取る。朝御飯が差し入れられる。三人、食べる。食べ終えて盆を返し、整列して廊下に出る。作業場へ向かう。三人一組の流れ作業である。要領を得ないスナメリに、ゴンドウとナガスがコツを教える。何とか流れが出てきて、三人一体となつて作業をする。が、スナメリ、またすぐにヘマをして流れが止まってしまう。

スナメリ

ゴンドウ

ナガス

ナメリ

ナガス

済みません —

謝る事なんか無いですよスナメリさん なれてしまえばどうって事も無い作業です  
何を悠長な事云つてるんですか ゴンドウさん 能率が悪くなれば後で小言食つのは三人一緒  
なんですよ スナメリさんのせいでおままで怒られたんじゃ割に合いませんよ

本当に済みません ナガスさん（頭下げ）

ナガス 頭下げても仕事は覚えられませんよ 手許を見なさい私の手許を いはせいついつしていつ

ゴンドウ ああ ナガスさん 力入れすぎですよ そんなにしたからせつかくの製品が白無しになりますよ  
ナガス 「これくらいで白無しになんかなりませんよ 何を白無しにするんです まあスナメリさんやつぱり  
らんなんさい いはいついつしていつです

スナメリ （交代する） いはいつ — いはいつ —

ナガス 違いますよ いはいつ — いはいつです！

ゴンドウ

だから駄目ですつてばナガスさん そんなに力を入れては

ナガス

ゴンドウ ナガスさんは黙つててください いはいつ — いはいつ — いはいつ！（バキッ） あ —

ナガス

ゴンドウ ほら だから云つたじやありませんか そんなに力任せにやつたら駄目なんですよ

スナメリ

ゴンドウ スナメリ 济みません

スナメリ

スナメリさんと謝る事はありませんよ ナガスさんがやつたんですから

— ナガスさんは私に親切で教えてくれました 私が不器用だからナガスさんはイライラして

つい力が入つてしまつたんです ナガスさんのせいではありません 私のせいです

— 私 看守さんに謝ります

ゴンドウ そんな必要ありませんよスナメリさん こんな事はよくあるんです 一つや一つ失敗したくら

いで 看守さんも田へじら立てたりなんかしませんよ それよりも続きをやりましょう

量がいかないとそれこそ怒られますよ まあ氣を取り直してやりますよナガスさん (ほんと

肩叩く)

ナガス  
ゴンドウ  
ナガス  
ゴンドウ  
ナガス  
— 私 班替え申し入れます

え?

看守さんに頼んで班替えしてもらいます 幾ら刑務所だつてそれくらいは呑んでくれますよね  
ナガスさん何をいつてるんです?

何ですかゴンドウさん にこにこしゃつて — 「まあ氣を取り直してやりますよナガス  
さん」ですって — そんなに私の失敗したのが嬉しいですか?そりやどうせ私はゴンドウ  
さん程 仕事も出来ませんよ うだつの上がらない人間ですよ 「私のするべき仕事じゃない」<sup>32</sup>  
なんて余裕がまるで男じやありませんよ — しかしどう そんな人を見下したような態  
度の人と一緒に仕事をなんかやってられません 私看守さんに頼んで班替えしてもらいます  
わたしは別にナガスさんを見下したりなどしていませんよ

ゴンドウ  
ナガス  
スナメリ  
ナガス  
ゴンドウ

じゃあ わたしのヒガミでいいです とにかく私 ゴンドウさんと一緒に仕事をたくあります  
ん 同じ場所で息するのも嫌でたまりません あわよくば班替えと一緒に居替えも申し出ます  
止めてくださいナガスさん 私のせいで一人がケンカするのは良くありません 私切ないです  
つらいです

スナメリさん これはスナメリさんのせいじゃありません 昨日からわだかまつてゐる私の  
ゴンドウさんに対する気持ちです  
ゴンドウ 私の何をそんなにわだかまるつて云つて云つて

ナガス  
途中で終わつた本懐遂げた話です  
何を本懐遂げたか知りませんがあの話は人をなめてます

きつと最後まで聞いたら耳が腐つてしまつよつた話です

ゴンドウ 何を根拠にそんな事を云うんですナガスさん

ナガス  
私は  
負け犬です  
負け犬は目を見ればそいつが仲間かどうか判ります  
ゴンドウさん

あなた私と同じ目をしてるんですよ。だから私は——ゴンドウさんを許せないんです

ナガスさん 何を許せないのが知りませんが私は負け犬じやありませんよ

そういうのを負け犬の遠吠えって云うんです

ゴンドウ  
云いましたね  
ナガスさん

止めてください。私のせいでもケンカはいきません。日本の歌にもこもあらんじやありますんか。

♪ハケン力をやめてえ  
一人を止めてえ  
私のせいで争わないでえ♪

三人、くんずほぐれつ。

ピーツと看守の笛が鳴る。

暗転

明転。

## 元の房である

便器の脇でスナメリがゴンドウを肩車している。何やら水洗トイレの紐を調べてゐるべつらひしい。ナガスは居ない。

スナメリ 早くしてください ゴンドウさん 重いのと臭いのと私二重苦です

ゴンドウ ちょっと待つてくださいよ

スナメリ もうあんまり待てません 重いだけなら踏ん張りも効きますが 「のニオイはちょっと —

私 頭が震えました

ゴンドウ だらしが無いですねえスナメリさん エスキモーの誇りもダツタン人の情熱もゴンドウさんのウンチの前では黄ばんでしまってばかりです

ゴンドウ だから早く流さうとしてるんですけど あ 一の紐の付け根が引っかかっているはずなんですがねえ

スナメリ うわあ

ゴンドウ どうしたんです ピックリさせないでくださいよ

スナメリ すみません 便器の中身が見えてしまったんですね

ゴンドウ 悪趣味だなあスナメリさん 見ないでくださいよ 恥ずかしいじゃありませんか

スナメリ 私だって見たくて見たんじゃありませんか 扇車してたらつい首がうなだれてしまつんです うわあ

—— また見てしまいました

ゴンドウ 田を開けてるからですよ 見えそうになつたらギュッと田をつむるんですけど

スナメリ ある程 (田を固く閉じる) ギュッ つむつましたよゴンドウさん ジャあそのまゝもう少し我慢してくださいよ —— ええと (調べようとして)

ゴンドウ うわあ

スナメリ なんですか もつ

ゴンドウ 済みません ギュッと田をつむつたんですが首がうなだれた瞬間に思わず田を開けてしまったんです

「ゴンドウ うなだれた時に皿をつむらなければ意味無し」じゃありませんが

スナメリ あ なる程

ゴンドウ 静かにしてくれないと調べられないですよ

スナメリ 判りました

ゴンドウ ええと —— (調べよひとい)

スナメリ、肩車のまま、いきなり檻の手前まで走る

ゴンドウ わ何をするんですスナメリさん

スナメリ 深呼吸です スーハースーハー

ゴンドウ —— 降ろしてください スナメリさん

スナメリ え 降りるんですか?

ゴンドウ 何だか調べる気が失せましたよ (降りる)

スナメリ あのまま放っておく気なんですか

ゴンドウ あなたが調べさせないんじやありませんか スナメリさん

スナメリ もう一度 看守さん呼んでみます (檻の外に向かつて) 看守さん 看守さん —

トイレの水が流れないんですね わよいつれて来てくれませんか —

外からの答えはない。

「ゴンドウ 無駄ですよ 何度もだつて来てくれやしません — 楽しいでるんですよやつと 私達が

慌てふためくを「ヤニヤ笑つて楽しんでるんです 静かにしてればそのうちひょい」とやつてきますよ

スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

慣れば 田舎の畠でくつろいでいるような気になりますよ  
「ゴンドウさんは自分のウンチだからそんな悠長な事か云えるんです 私の見にもなってください」

スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

何を食べたらって 私スナメリさんと同じ物しか食べてませんよ  
じやあきっと 「ゴンドウさんのお腹の中にはウンチを人の倍クサクする虫がいるんです  
失礼な事云わないでください 私虫なんか飼つませんよ」 — 多分

スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

ああ 私もナガスさんと一緒に別の房に移れば良かったです  
何を云つてるんです ナガスさんは別の房に移つた訳じゃありませんよ 懲罰房に入れられてるだけです 二・三回すれば またここに戻つてきますよ

スナメリ

ゴンドウ  
スナメリ

何しき看守さんを殴つちゃいましたからねえ  
あれは殴つたんじゃありません ケンカを止めに入つた看守さんの顔にたまたまナガスさんの肘が当たつただけです

ゴンドウ

スナメリ

それでも看守さんにしてみれば殴られたのと同じ事です — 私の囚人が何を弁解したって無駄なんですよ

スナメリ

ゴンドウ  
さあ — 映画で見た事ありますがね 狹い小さな箱のような所に押し込められて 残飯の

ような食べ物しか与えられないんです 昼も夜も判らない真つ暗な所で充分に身動きも取れず



「コンドウ

——しかし何だか変ですよね天井から直接紐が垂れてるつて云つのは昔読んだお話を

「これに似たのがありましたね——

スナメリ  
「何ですかそのお話つて?

ゴンドウ  
「蜘蛛の糸」つて云つやつです地獄に落ちた亡者の群れに極楽のオシャカ様が蜘蛛の糸を垂れるんですそれに気付いたカンダタつて云つ男が蜘蛛の糸ひどく登つてゆくんですけどすると後から他の亡者達も登つてくるんですそんなに大勢登つちや蜘蛛の糸が切れしまつと思つたカンダタは足元の亡者の群れを蹴落とすんですねすると自分の掘んでた蜘蛛の糸が切れてカンダタもまた地獄に落ちてゆく——そんな話ですよトイレの紐が蜘蛛の糸つて説ですか

スナメリ  
「ええ

ゴンドウ  
「ええ  
スナメリ  
「しかし上は極楽といろかすぐ」に天井ですし下に落ちればトイレに止まつてしまふのが闇の山<sup>38</sup>ですよ

ゴンドウ  
「しかし首吊りは出来んじやありませんか?

スナメリ  
「首を吊るる?何故ですか?ゴンドウ  
「も考えていませんからね

スナメリ  
「——ここに入つてそういう事を考へた人もいるんでしょうか?ゴンドウ  
「悔やみに悔やんだ人とかね居るのかも知れませんね——でもトイレの紐なんかで人間の体重が支えきれる訳もありません首吊りはやはり無理でしょうねスナメリ  
「ゴンドウさん私何だか気分が悪くなつてしまつた首吊りの話ですか?

スナメリ いえ このニオイのせいです —  
ゴンドウ もう一度 紐の具合を調べてみますか  
スナメリ 駄目です もうこれ以上便器の側に近寄りたくないかもしれません  
ゴンドウ それじゃあ 看守さんを待つより他ありませんよ  
スナメリ 仕方ありませんね チリ紙を鼻に詰めます

スナメリ、チリ紙を出して鼻に詰める。

ゴンドウ 私のウンチってそんなに臭いんですかね — (少し気分を害してゐる)

スナメリ ええ — ゴンドウさん

ゴンドウ 何ですか?

スナメリ ゴンドウさんの友達は「ゴンドウさんが『』に居る」と知ってるですか?

ゴンドウ ああ — まあね 知っていますよ — それがどうかしましたか?

スナメリ 聞きたいんです — ゴンドウさんのその友達はゴンドウさんに前科があるても 以前と同じように友達のままで居てくれるのかどうか

ゴンドウ 突然何を言い出すんです?

スナメリ 済みません不躾で — そんな事『』を出で友達と再会してみなければ判らないことでし

ゴンドウ ょうけれど — その所をゴンドウさんはどう思っているのか聞いてみたかったんですけど  
そりやまあ — あいつは親友ですからね 多少の非難もあるでしょうけど きっと私のことを心配してくれていると思いますよ

スナメリ 『』を出れば すぐに友達に会いに来きますか?

ゴンダウ

そうですねえ――すぐにかどうかは判りませんがまああいつしか居ないですからねえ  
腹を割つて話せるのは

スナメリ 友達に会うのに勇気が要りますか

そうですね——多少は勇気がいりますかね

スナメリ  
でも会うんですね

ええ 会いますよもんわん

スナメリ 良かった その言葉が聞きたかつたんです  
私 妻とマイマイに手紙を書きます

手紙ですか？

スナメリ  
はい  
私が日本の刑務所に繋がれている事が彼女たちの耳に入っているのかどうか知りません

が、その訳とじきを手紙に書いて知らせようと思つんですね——今の「ハンドウセイ

言葉を聞いて私も少し勇気が出ました

でもそんな手紙なんか出して奥さんやお子さん  
かえつて不安になりませんか

大丈夫ですかと 妻とマイマイは判つてくれます ナガスさんは他人を信じるなど云

『ゴンゴドウさんこの友達がゴンゴドウさんをいましたが妻と子供はきっと私を信じていらばずです』

信じていいよつたです

ゴンドウ ならいいですが —

スナメリ  
何だか私も元気が出できました  
今ならセメント袋十袋一遍に抱げるような気がします  
フウフ

ウ  
(とチリ紙を吹く)

ゴンドウ スナメリさん チリ紙が飛びますよ

「」を出たら何処かでまた落ち合いましょ  
どちゅうが先に出るか判りませんが  
ゴンドウさん  
スナメリ

う 出来ればナガスさんも一緒にです そうして三人で女の子ナンパして引き連れてカラオケ

でも行きましょう 私 女の子とラクカラチャ唄つて踊ります

♪ ラクカラチャラクカラチャ  
ゴ バジワギンシル 薙リまゝまつ

「ゴンドウ  
え？ 嫌ですよ私は

スナメリ いいじゃないですか ほら「うやるんです

♪ ラクカラチャラクカラチャ  
一緒に踊りましょう

ウンチ臭いけど

ラクカラチャラクカラチャ

卷之三

ラクカラチャラクカラチャ

追っかけっこしましよう

暗転

明軒

ナガスが戻つてきている。  
カリントウの入った袋を覗いて、しきりに数えている。

ナガス

イチニイサンシイ ——  
ヒイフウミイヨオ —— (首をひねる)  
ワンツウスリイフオ —— (首をひねる)

——イイリヤンサンスウ——（首をひねる）

(首をひねる)

ゴンドウ  
ナガス

うるさいですねえ ナガスさん 声を出さなきや  
數えられないんですか  
おかしいなあ どんな風に数えてもカリントウが四本しか無いんです

ゴンドウ  
ナガス

数え方変えたってカリントウの数が増える訳無いでしょ  
うですナゾ數算剪房へ行く前に何かこ6本残つてたばずなん

スナメリ

自分で食べたんでしょう——勘違いですよナガスさんの

ナガス  
スナメリ

私はこういう事に関してははつきりと記憶してるんですけどもまだ4本あるんでしょう 良かつたじやありませんか

ナガス  
ゴノボウ

何が良いんですか 6本あつたのが4本なんですよ 2本も足りないんですよ  
二本も足りないよ

ナガス

「こ」を出されは、カリントウくらい嫌といふ程食へられますよ。  
馬鹿を云つちやいけませんよ。『こ』で人から羨ましがられるながら一人で食べるカリントウだかう

四〇

ら美味しいんです 至福なんです 「」を出でワザワ  
ナガスさんあなこつて人日本当に謙ひ性格してますね

ナガス

ゴンドウさん程じゃありませんよ

ゴンドウ  
ナガス

ナガスさん あなたまた私にケンカを売ろううつて云うんですか  
いいえ ケンカを売る気なんかさらさらありません 一

ソドウさんとスナメリさんの二人しか居なかつたでしよう でも一人のうち スナメリさんは

スナメリ

カリントウを見るのは嫌かるんですよ  
ええまあそうですねナメリさん

ナガス  
ゴンドウ

ですから、スナメリさんがカリントウに手を出す可能性はまず考へられないんですね。私が盗つたって云いたいんですかナガスさん

ナガス ナガス それ以外に「どう考へたらいんですか？  
ゴンドウ ゴンドウ 私そんなもの盗りません

ナガス ナガス ジやあ刑務所のネズミが齧つたとでも云うんですか  
ゴンドウ ゴンドウ 知りません！

ナガスさん ゴンドウさんはそんな事していません —— 私いつも一緒に居たんですよ ですか

ナガス ナガス すから私が証人です  
スナメリさん スナメリさん あなた夜も寝なかつたつて云つんですか？  
ナガス そりや寝ます 寝ますけどいつも私より先にゴンドウさんがイビキをかいてたんですね

年寄りは夜も早ければ朝だつて早いんですよ スナメリさんが白川夜船の時にもうゴンドウさんは目が覚めてるんです そうでしょゴンドウさん?  
ゴンドウ 朝早く目が覚めるからってそれが何ですか？私がナガスさんのカリンントウを盗つたつていう証拠にでもなるんですか？

ナガス 証拠なんて何もありませんよ カリンントウのふたづぐらい買袋におさまってしまえばアトカタもありませんからね 私はゴンドウさんの良心に訴えているんです —— 最初にカリンントウを一本なんて語を持ち出したのは私ですからね 端からゴンドウさんにあげたもんだと思つてしまえば私の氣だつて済むんです 私が食べましたつてゴンドウさんが謝つてくれればです  
ゴンドウ 私 盗つませんー何度も云つたら判るんです 盗つてないつて云つたら盗つてないんです  
ナガス ナガス —— 私 聞きましたよ ゴンドウさん  
ゴンドウ ゴンドウ な 何をですか？

ナガス 隣りの懲罰房に居たヤツが「ゴンドウさんの事知つてたんです あなた二十四時間営業のファミリーレストランで無錢飲食やつたそりじゃないですか それも聞けば三日間も居続けて飲み

食いし続けたたそつですね 笑つちやいますよ 本懐遂げたつて云つから何かと思ひれば無錢飲食ですか さてかし本懐遂げるほど 好きな物腹一杯食べたんでしようね

スナメリ  
ゴンドウ  
スナメリ  
ナガス  
いえ —

笑いなさいよスナメリさん ほら一緒に笑つてやりましようよ どうせそんな事だつうと思つてたんです 本懐遂げたなんて嘯いて蓋を開ければケチな無錢飲食だなんて 笑う以外どうしゃらしいんです 一人で笑つてやればきっとゴンドウさんの気持ちだつて軽くなるんです そ

「ゴンドウ

—— ファミリーレストランに行く前の三日間 —— 私は無け無しのお金でフランスパンを一本買って そいつを少しづつ飲み下していました —— 三日目の夜に最後の一口を食べたんですけど その夜は空腹で寝付けなくてフラリと外に出てみたんです 街道沿いの道を歩いていたら電話ボックスが目に入りました 私は電話しようかどうか迷いました あいつにでもあいつに電話してお金を少し貸してもらえたら そうしたら 明日こそは職安に行つてちゃんと仕事を見つけるんだと考へたんです —— だけどその時にはもう夜中の十二時を過ぎていたので迷惑になると想い電話するのを止めたんです それたくなる気持ちがしたのです 気がつけば目の前にオールナイトのファミリーレストラからまたトボトボ歩いていったんですけど電話ボックスばかりが目について 何だか叫びだしんがありました 私は自分の空腹も手伝つてその中にフラフランと入つていったのです レストランの入り口にやはり電話があるのか目にありました 私はそれを見て安心し 今度は堂々と胸を反らしてウェイターの案内する席に着いたんです メニューを見ると皿がくらべりするような食べ物の写真が一杯並んでいて その

中で一番美味しいものを指差して注文しました。これでもう後戻りはできません。私は電話の所に行き十円玉を入れて友達の電話番号を廻しましたが呼び出し音を十二回聞いて受話器を置きました。多分もう寝入ってるんだろうと思つたんです。しかしまたもう少し後で電話しようと考えて席に戻りました。しばらくすると注文の品が来ました。美味しい肉の生姜焼き定食です。私は夢中になつてそいつを食べました。そうして食べ終わつてまだ十分しか経つて無いことに気が付いたのです。きっとあいつはまだ起きないだろと考へてもう一品唐揚げの載つたラーメンを注文しました。そいつをゆっくりと時間を持って食べてその後コーヒーかワインを注文してゆっくりと飲み朝になるのを待つと思つたんです。朝になつてあいつが起きる時間を見計らつて電話をしようと決めて私はラーメンをゆっくりと啜りました。三十分掛けてラーメンを食べ終わりそれからコーヒーを注文しました。煙草が吸いたかつたですが煙草を貰うお金ももうありませんでした。

「一ヒーをちよ」と一啜しながら私はに長し夜か明けるのを得たのです  
もういです「ゴンドウさん もうそれ以上何も話さなくていいです——済みませんナガ  
スさん カリントウ私が盗つたんです」「あんなさ」

ナガス

スナメリ  
ナガス  
マイマイが病気なんです ゼンソクです  
つたんです 許してください  
ち ちょっと待ってくださいよ スナメリさん  
話をしてるんです  
だから私マイマイに秘伝の特効薬を送つてやりたか  
だ  
秘伝の特効薬? 一体何の  
話が見えませんよ

スナメリ

話をしているんですね  
だから私がカリントウを盗んだ話です　―― 父方の家に代々伝わる漢方薬なんです 私は  
供の頃 ゼンソクだったんですが親にその薬を飲まして貰つて治った覚えがあるんです

ナガス  
スナメリ  
ええ 私も驚きました 日本人があんなものをお菓子にしてるんだなんて やはり日本人は侮れません

スナメリさん カリントウは漢方薬じゃありませんよ 只のお菓子です

ナガス  
スナメリ  
—— 実を語つと私が子供を拉致したっていつのもその為なんです その漢方薬といつのは子供のウンチから作るんです

えつ?  
—— 一体何の話をしているんです?

二人

スナメリ  
子供のウンチを甘草と糠と一緒に竹筒に詰めて土の中に埋め 一ヶ月熟成させると それを蒸焼きの壺の中で濾過して 上澄みを服用するんです ゼンソクなど一発で治ります

—— 私それをマイマイに飲ませてやりたかったんです

ゴンドウ  
スナメリ  
それで子供を拉致したんですか?

ええ 公園で遊んでた子供を公衆トイレに連れ込んだのまでは良かったんですが お尻に竹筒をあてがつたら泣き出してしまったんです 私慌ててその子をなだめすかしたりしたんですけど 何故か余計に泣き出してしまい 不審に思ったその子の友達がお母さんを連れてしまつたんです 私はトイレから出るに出られず困り果てました やがて騒ぎが大きくなつてお巡りさんが来てしまつたんです

ゴンドウ  
スナメリ  
弁解できなかつたんですか?

どうやつて弁解するんです 私は手に竹筒なんか持つてゐるし 子供はお尻押されて泣いてる 「この子のウンチが欲しかった」 なんて云々ばそれこそ変態扱いです

ナガス  
スナメリ  
しかしその話とカリントウがどう結びつくんです  
代用できるかも知れないと思つたんです もしかしたらキリンソウでもいけるべじやないかと

ナガス (カリントウ出して) スナメリさんあなた おやか「れの事を (とスナメリの顔に近づけた)  
スナメリ わ 近づけないでください —— 返します ナガスさん もう形が判らないように粉々に碎  
いたしましたが 妻とマイマイに送る手紙の中にちやんと包んであるんです (手紙を出で  
うと)

ナガス いりませんよもつ 粉々に碎いたカリントウなごて  
スナメリ 済みませんナガスさん 済みませんゴンドウさん 私のせいにナガスさんにもゴンドウさんにも嫌な思いをさせてしました  
ゴンドウ もういいですよスナメリさん 私はスナメリさんなんかよりももつと謝って欲しい人が居るんで  
です

ナガス (そっぽ向いてる)

ゴンドウ (あきれて) ま いいんですけどね —— でもスナメリさん その粉々に碎いたカリントウ  
は多分ゼンソクには効きませんよ

スナメリ え やはり駄目なんですか?  
ゴンドウ ええ カリントウっていうのは子供のウンチでは無く 実は犬のウンチでありますね  
えナガスさん?

ナガス え? ええまあね  
スナメリ そうだったんですね —— それは私も危惧していたんです 形とか大きさとかまさに其の物  
ですからね —— やはり効きませんか ゼンソクには —— 然し 犬のウンチを食べるだ  
なんて やはり日本という国はあなどれません

すぐに明軒。  
ゴンドウとナガスが笑い転げている。  
スナメリは居ない。

10

ナガス

ナガス

一一

一  
二  
三

ゴ  
ン  
ド  
ル  
ナ  
ガ  
ズ

一一一

ナガス

何処からか、手紙がヒラヒラと舞い込んでくる。

手紙

ナガス

ナガス

やり直しましょう（ビールなんか飲んでる）

何たれ?

あ  
スナメリさんからの手紙です。

「コンドウ　え　本当ですか？」

一人、封を開いて中を見る。

手紙

ハロウ　ミスター、コンドウ　ミスター・ナガス　獄中お見舞い申し上げタテマツリツカマツリま

して御免ください

何だこの文章？

ナガス  
ゴンドウ  
手紙

きっと日本語の手紙なんか書いた事無いんですよ  
お隣様で　無事そちらを出ましてから私　元の親方の所へ厚かましくも顔出して殴られました

もう私の顔など見たくも無いとの事　ケンもホロロにうつちやりました　ビザも切れるしどう  
しようじゅうしようしていた所　私は泣いていましたが　親方の所で一緒に働いていたケンキチ  
くんが見るに見かねて　友達のイラン人を斡旋してくれました　ケンキチくんの友達のイラン  
人はモハメドさんと云います　モハメドさんはとても私に親切してくれて　仕事と住む所を  
私にあてがいました　モハメドさんの仕事と云うのはNFT関係の仕事だそうで　モハメドさ  
んは毎日テレホンカードを作っています　そのテレホンカードを数人の社員で売るのですが  
私もその一人となつて街中で営業しています　普通で買う値段の半分で売るので私はビックリ  
しましたが　モハメドさんはそれでも儲かると云いましたから　私は安心して営業に精を出し  
ています　今は刑務所と同じくらいの広さの所に他のフィリピン人の営業の人たちと四人で暮  
らしています　皆で気持ちよくなる薬の廻し打ちとかやってとても楽しいです　モハメドさん  
は売れば売るほど私の儲けが多くなるといいます　だから私は頑張つてたくさんたくさんテレ  
ホンカードを売つて妻とマイマイにいっぱいお金を送ろうと思います

マイマイのゼンソクの薬を早く送つてやりたいです 隣りの部屋に子連れの女のフィリピン人の人が居ますので 今度は訳を話して ちゃんとウンチを貰おうと思っています  
ピース モハメドさんにゴンドウさんとナガスさんの事を話しました モハメドさんは雇つてもいいと云っています もしよければ一緒に働きませんか? そうでなくとも私は毎日午後の三時頃日雇い橋のたもとで立つてしますので出所したら来てください 三人でナンパしてカラオケ行きましょう 首を長くして待つてます スナメリ —

手紙、  
去る。

ゴンドウ  
ナガス

ゴンドウ  
ナガスさん

はい

「コンドウ」

卷之二

תְּנִינָה

卷之二

110

四〇

ナガマ

止しないよナガスさん あなたがおせつかいする事なんか無いですよ  
別におせつかいだなんてそんな — 私あの人見ると腹が立つてく

能天氣で

お人好しで世間知らずで何やつたってグズで

「ハハドウ その言葉 やいへんなのままあなたの事ですよ ナガスさん

何を云つてるんですゴンドウさん 私がなんで

ゴンドウ そうぢやないですか そつでなければどうして「んなとろ入る羽目なんんです

ナガマ  
が二たふ  
ハエトモスたふで同類です  
區分六のノミナナです

はいけないんです

ナガス  
しかしですね

ゴンドウ 我々は誰だって自分の事だけで精いっぱいなんです！

ナガス  
何も怒鳴る事無いじゃありませんか  
「コンドウさんがなにを云おうと  
私もう決めたんです

スナメリさんに意見してやるって事をです  
別に友達だからとか云うわけじゃなくて私

卷之三

ゴンドウ

私 冗談が云いたかつたんです 一文無のカラッケツのグータラの腹を空かせた口クデナシが思つ存分好きな物を三日間も食べ続けて もう「れ以上は何も要らないと云うぐらゐの贅沢三昧をして高楊枝でお繩を頂いたんだって — 只れだけなんです そつ云つて見たかつたん

一九二

二〇

私があれだけビクビクドキドキしながら―― 顔から火が出るような思いをして 砂を噛む  
ようにして 食べ続けた三日間の代金―― 幾らだったと思います? だつたの一万六千円で

す たつた一万六千円の為に私 あの監獄のよつなファミリーレストランの中に三日間も閉じ込められていたんですね

ナガス  
ゴンドウ  
友達は — ついに電話に出なかつたんですね  
— ナガスさん ほらこの窓の向う こゝを出れば私達はまたあの窓の向うに行く訳ですが

私には何だか あの窓の鉄格子が外の世界を封じ込めている様に見えてしまつんですよ

暗転

すぐに明転。

ゴンドウが、便器に腰掛けている。

ナガスの姿は、もう無い。

ゴンドウ 看守さん — 看守さん — チリ紙が切れましたよ 私の分もう無くなつてしまいまし  
たよ — ねえ看守さん 居ないんですか? 私 何時になつたらこゝを出られるんです?  
もうなんだか何十年もこゝに居るような気がするんですけどね — だいたいおかしいぢや  
ありませんか 子供を拉致したスナメリさんや お弁当ドロボウの常習犯のナガスさんがどう  
して私よりも先にこゝから出られるんです? 私 只の無錢飲食なんですよ ファミリーレス  
トランに三日居続けたとは云々 私がそんな事をしたのは後にも先にも一回こゝつきり何です  
よ 一本の法律はどうなつてゐるんです? — いや 違いました 思い出しました 確か  
こゝに — (と自分の道具入れを探る) ありました カリントウです ナガスさんが懲罰房  
に入れられた時に盗んだやつです 実はスナメリさんは一本しか盗つてなかつたんです もう

一本は私が盗りました 後で食べようと思つて忘れてました (便器に座り直して) 頂きます  
そうです 私の罪は無錢飲食とカリンントウを盗んだ事です 思い返せば他にも 数限りない小  
さな嘘や盗みを繰り返していくようにも思います このカリンントウ相当シックで いますね も  
うどれぐらい経っているんでしょう? 「駆走様でした —— しかしあれですそれくらいの事  
でこんなにも閉じ込められると云うのはやはり理不足です ねえ 看守さん聞いてます? 居な  
いながら居ないって云つてくれないと困るじゃないですか —— 看守さん住在つて「その刑務  
所なんですよ —— 看守さんが居ないんじゃ只の 口の たち —— 何でしよう?  
まあいいです —— それよりも看守さん チリ紙が切れてるんですよ いいんですね この  
ままだと私 お尻拭きませんよ いいんですね この状態で流してしまつても? 私どちらかと  
云つと そういうのは平気な性質なんです 本当にこのまま流しちゃいますよ グイ

“コンドウが、トイレの紐を引っ張ると、その紐が力無くスルスルと伸びて地面に着く。  
”コンドウ あれ —— ?

“コンドウ、もう一度引っ張る。  
すくいじまた、紐は引っ張った分だけ天井から降りてくる。

”コンドウ 看守さん 変ですよ トイレのヒモが伸びましたよ ——

返事はない。

仕方なく、ゴンドウが手縫いの紐を手繕つてやる。紐は幾つでも天井から降りて来る。ゴンドウ夢中になつて紐を取つ張る。その仕草が段々と、蜘蛛の糸を巻くカンダタのように見えてくる。

必死に天に這い登る様に紐を手縫いゴンドウ。

やがて紐が尽き、天井からその先端がボタンと落ちた。

間のぬけた音楽が流れる。

ボンヤリと、床の紐を眺めていたゴンドウに、背後からウェイターが声を掛けた。

ウェイター 今 お眠りになられてませんでした?

え——いえ——  
当店では そういう事は禁じられておりますので よろしくお願ひいたします  
はい  
どうぞお席へ  
はい——

ゴンドウ、便器に腰掛ける。

ウェイター、トイレの紐を止めてね。

ゴンドウ あの——  
ウェイター (片づけながら) 何でしちゃう・

ゴンドウ

ウェイター

ゴンドウ

「——」は何処なんでしょう？

は？ —— お客様 やはりお眠りになられてましたね？

いえ そんな事は —

「ゴンドウ、何かを耐えるように様に便器に座っている。  
もう一人のウェイターが現れる。

ウェイター2

ウェイター1

ウェイター2

おはよう御座居ます

あ おはよう御座居ます

済みません 遅刻しちゃいまして —— 実は家でテレビのニュースを観ていたんですけど  
たいへんですよ 世界中で火山が爆発してるんです 大地震も頻発しています 世界中の  
株が大暴落です 世界中の至る場所で大勢の人が虐殺されています —— こんな所で  
のんびりウェイターなんかやっててもいいんでしょうか？

ウェイター1

ウェイター2

ウェイター1

知りませんよ そんな事 —— 馬鹿な事云つてないで仕事しない仕事  
そうですか —— そうですね 私只のウェイターなんだし —— (ゴンドウに気付  
いて) わ あいつまだ居るんですか もう三日目ですよ

ウェイター1

もう三時間も何も頼まず 「ああやつてボンヤリ座つてるんですよ —— 君注文取つて  
来てください (去る)

ウェイター2

判りました (ゴンドウに歩み寄る) お客様 何かご注文は御座居ませんか？ —— お  
客様 —— お眠りになってるんですか？

ゴンドウ

— いえ — あの — 待ってるんです私 —

ウェイター2 お連れ様がいらっしゃるんですか？

ゴンドウ ええ——あの——家族がね——妻と子供が来るはずなんです——「ハーリー」

て坐って待ってるからって呉つてあるんです——もつ一度電話してみます

ウェイター2 何か注文はありませんか？

ゴンドウ それじゃあ

ええと——サンディッシュとオレンジジュースですね お願いします

ウェイター2 サンディッシュとオレンジジュースですね かしこまりました

ウェイター2 お出で。

ゴンドウ、電話機の所へゆく。

受話器を取り、十円玉を入れる。

意を決してダイヤルを廻す

ゴンドウ——もしもし——カジオカさんのお宅ですか？私ゴンドウです ええ  
居ますかあいつ？ちょっと用事があるんですけど 話したい事があるんですけど あいつに——  
ええ そつなんです 大事な話です え？——居ない？——そんなはずないでしょ  
まだ出勤には間があるし それに今 声が聞こえましたよ あいつの声が奥さん——もし  
もし奥さん——

電話切れる。  
ゴンドウ、それでも受話器を握りしめたまま立ち去る。

コンドウ

—— カジオカ 私気が付いたんですよ それをお前に云おうと思つたんです —— バ  
ユウムカーの仕事辞めてから お前には色々と迷惑を掛けたけれど たつた今気が付いたんです —— 本当はどんな仕事だって構わないって事にです 誰かが居ればです 私を待つ居てくれる誰かの為ならばどんな仕事だって厭わないという事にです 世界がどんな風に変わつと抱き合つて眠れる人の為に私は —— その事がお前に云居たくて 電話したんです —— カジオカ 私 今 死にそつに眠いです

終わり